

薄々ながらも現代世界が異常化してる事を多数は察知、だが**世界大資本主義体制**下の目先生活束縛を考えると現状延長だけ。9/11 テロが米軍需産業大謀略たる事の真の目的は**歴史的巨大デマ**が堂々徘徊する事での世界市民に**真実への無力感**を深く伝染させる事だ。同様に人類存否を賭けた**気候急変動問題**の実態が一向に直視されないのも全く同じ機構。

地獄案内人の既成新聞&TVを一度、一切拒否すれば、デマ束縛から解放できる。脱出解答は生きる意味では単純、大飛躍な世界同時認識の是非(**最後の審判**)にかかる。

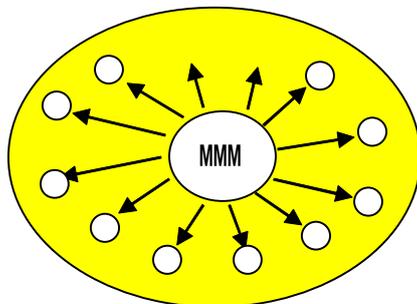
[1]：知識教育有無でなく、生きる生の“本能としての直感”を蘇らせる!!

①人工意識管理環境<見た目と快感誘引生産としての資本主義成長>：

生まれた時に既にカラ-TV普及にあった 40 代以下世代は仮想現実で育成されてる。パソコン, ゲーム機&携帯通信は更に一段上強度の仮想現実のマトリックス世界。自然喪失の人工環境=都会化と家計所得向上と共に私塾教育と高学歴化が進行、だがそれも母胎世界。資本主義成長とは贅沢過剰追求=自然破壊の人工華美環境生産とその意識促進(商広告)。長期歴史で人は衣食住の満足(?)ですごしたが、産業資本革命達成以後は資本競争世界になり、遂には必要以上の華美贅沢商品生産流通が無くては経済成長停止=資本回転破綻、経済成長の真意とは資本回転の金融破滅を防ぐだけの意味にある事を知るのが経済核心。日本で言う箱物生産とセメンアスファルト環境の一途生産、だがその先にある物とは?! 生存資源基盤たる自然の大破壊、その罪の尋常ならざる大きさを現代人は知る事になる。
*米映画マトリックス(母胎)は人類の人工生理環境生存、意識は支配者管理仮想世界。

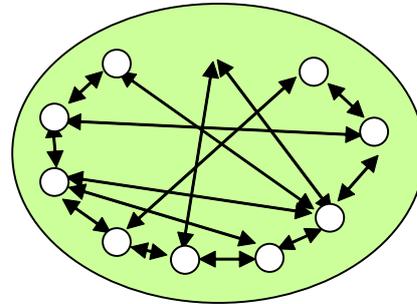
現代人意識形成は圧倒的既成マスコミ媒体(母胎)下≡MMM での実は仮想母胎下のその物。MMM≡Mass-Media-Matrix。広角TVと携帯普及の甚大なる意味は、生感情下での情報交換(会話, 読書と思考)を消滅させる為。電子表示を見る事は実は思考停止である事に留意。

(1)MMM 世界のファシズム構造



“個人間の連帯希薄化に気づかない”

(2)正常な情報生成交換構造



“意見と感情の生での交換”

②誰がそんな途方もない事を考える<日本人想像を超える資本の番犬CIA人間支配研究>:

CIA 最大秘密はその金額非公開活動資金、実は米帝王 Rockfeller 私資金と麻薬流通利益と言われる<芸能界はヤクザ CIA コネで最大麻薬市場?!>。何と公金でなく私金含有だ。是は国民からすれば公金をひたすらくすねるどこか国と違って文句が付けにくい構造である。その意味で CIA は Rockfeller 私兵。その目的は帝王地位没落防止、己の凋落を恐怖する者は悪魔化する。国家国民は優生貴族(Rockfeller)の搾取対象が CIA 思想。ナチス時代に勃興した人間政治管理技術が秘密渡米(paper clipp 作戦)して、戦後米国で徹底研究されたのである。その隠された高度技術は米本国と衛星諸国(実質世界規模)で秘密利用されてる。個人行動監視の組織化技術、人格改造洗脳医学的技術、商業、政治と宣伝と心理工作技術、

*アイゼンハワー大統領の退任演説における産軍複合体台頭への警告(1961).

我々は地球規模において敵対的で、性格に於いて無神論、目的に関して無法、方法に関して陰險な思想に直面してます。

* (新約聖書)テサロニケ人への第二の手紙:第二章(抜粋)

- 0203> だれがどんな事をして、それにだまされてはいけない。まず背教のことが起こり、不法の者、すなわち、滅びの子が現れるにちがいない。
- 0204> 彼は、すべて神と呼ばれたり拝まれたりするものに反抗して立ち上がり、自ら神の宮に座して、自分は神だと宣言する。
- 0206> そして、あなたがたが知っているとおりに、彼が自分に定められた時になってから現れるように、いま彼を阻止しているものがある。
- 0207> 不法(lawless)の秘密の力が、すでに働いているのである。ただそれは、いま阻止している者が取り除かれる時までのことである。
- 0208> その時になると、不法の者が現れる。この者を、主イエスは口の息をもって殺し、来臨の輝きによって滅ぼすのであろう。
- 0209> 不法の者が来るのは、サタンの働きによるのであって、あらゆる偽りの力と、しるしと、不思議と、<0210> また、あらゆる不義の惑わし<pleasure in unrighteousness>とを、滅ぶべき者どもに対して行うためである。彼らが滅びるのは、自分らの救いとなるべき真理に対する愛を受け入れなかった報いである。
- 0211> そこで神は、彼らが偽りを信じるように、迷わす力<strong delusion>を送り、
- 0212> こうして、真理を信じないで不義を喜んでいたすべての人を、さばくのである。

③最近の気候異常<生きる生の“本能としての直感”を蘇らせろ!!>。

急遽話は飛ぶが、最近の気候は過去にない異常を察しないだろうか。年末日本は暖冬、3月は寒気団と温暖強風が交互反復する異常が起こった。是は北からの流れと南からの流れが共に強くなって相互拮抗してる事を意味する(北極振動)。流体である大気流れが強くなると言う事はどこかでエネルギー注入(赤道温暖化進行)が起きてるからだ。日照皆無冬期マイナス40度Cの北極圏寒気団を南方日本まで押し出すには逆に北極圏への強い南の流れがあるからだ。流れ出た後には穴埋めの流れ入りが無ければならない(カナダ西岸域等)。この意味で地球(海洋温度)の沸騰化が開始してる。気候変動への対処COP(1995), 科学者会合IPCC(1988)が創設されて既に22年、これほどの時間があったのに実質的効果を持つ世界政策決定ができなかった。筆者観察では科学者不備もない訳でないが、圧倒的政治経済的拘束が集団科学者発言を封じた。あえて集団科学者と言う意味は重大、なぜか？、

④貧困層学力低下と富裕層勉強し過ぎは、逆に非常にヤバイ!!

教育目的は自立生活能力を持つ大人としての資質, 人格の育成手段総合である。現在日本の私立大学は入学者激減で経営危機、当然ながら入試は甘くなり、大学生(教科書にない問題を発見して解く能力者)資質にない学生が増えたとの教育者からの指摘を聞く。エリート養成一流大学では、家計向上と共に幼少より、私塾教育もあって勉強しすぎ傾向がある。現場での指導者を期待される彼らに要求される能力は問題発見とその解決法だが、過剰学習は逆に既成知識への依存を強め、それからの飛躍脱却ができない。既成知識にはとんでもない破滅招来の巧妙な多数デタラメが堂々徘徊してるのだ<筆者主要仕事>。然るに一般初等高等教育研究機関と既成マスコミは真相を知りつつ、未だに隠してる致命的裏切りがある。若手が遺伝的に劣るなどはありえないから、全ては戦後、特に経済成長後の日本の環境激変に由来するだろう。日本高齢層は子供を生贄にし、現在の豊かさを得たのだ。

⑤過去栄光拘泥で発想転換ができない：

戦後日本半世紀を独裁支配し、自滅日本を招来した自民党に変わって若手中心の民主党政権が樹立し、大きな期待が持たれた。民主党議員特徴一つは秀才的で、内部では議論百出、目前作業対処に即決できず、無用な長時間議論だけがある。大問題の混乱世界を目前に大局将来方針が一向に打ち出せず、事態をやり過ごしてる。その根源理由は戦後自民結果がもはや日本自滅的状况を招来してしまったのに、その連続的継続性を、実質的に不可能を追及してる事だ<革新性欠如>。

自民破滅結果を概要すれば、セメントアスファルト官民事業で大規模な田畑山林沿岸を自らの手で潰して甚大な価値を持つ自給食資源を断ってしまった事、戦後長く禁止にあった国債復活で返済不能財政破綻をきたした事、家計富裕化と少子化は、自立促進とは逆の人材育成教育失敗になった。この問題は深刻に企業等から指摘されてる。

更に貧富拡大での社会混乱は犯罪と**他人不信**を蔓延させ、国民心理荒廃を招いた。過剰な食摂取は成人病多発で、治って元々の無用医療費の異常肥大を招いてる。外交は犯罪的な**対米従属植民地支配許容**、この米支配後遺症はあらゆる国家部位で甚大で、今こそ火急対処大問題。真に実の成る事は潰し、負遺産だけを残した。大戦敗戦以上の超甚大被害である事だ。この**現実直視**から全てが始まるはずなのだが。

民主党はこの重大な間違いを正面攻撃する**逆転攻め革新**の視点を欠いてる。但し希望は、隠れた対米追従を是とする CIA 官僚組織主導戦後支配から、**選挙民間選抜議員主導**への掲唱と実施、それと**供給者側経済**から、**需要者側経済**への転換姿勢を二つ示した正解点だ。第一段階としての子供手当は、将来的には一般生活手当相当としての一步。需要者生活直保障は、逆に供給市場確保に等価で、**国民生活-経済回転の同時成立基礎**を与える。

(S) 金を稼ぐ心配が従来の圧倒的支配の金融支配新規市場成長一途路線の供給側経済、
(D) だが**発想逆転**の通貨を持たせれば**基礎生活必要分**は必ず使うが需要側経済。

☞：経済を冷静に考えれば、サイフを持つ**消費者主導**である事だ、だが自由競争資本主義＝経営者主役主義は、その従属性を表向き出せない。既成経済学には騙しが多いのだ。

今年過ぎれば事態が明白化するだろうが、世界経済牽引だった**天文学的**巨大負債****を抱える米経済にはもはや前途無く、今頼みの中国もいずれ時間切れが来ると第二波世界不況はもう従来政府歳入を破綻させる(2010は過去最高の国債発行額44兆に注意!)。彼らはこの世界現実を直視してない、なぜなれば教科書的回答がないからだ。既成経済学者、経済評論家、実業人、労組、政治家もが絶対口にしない問題は、**化石エネルギーがもう使用不可能、かつでき過ぎた経済**にはもう**成長路線**が追求できない事だ。世界中の皆がそろって他人顔色伺いの解答なし状況なのだ。この意味では世界も日本民主党と同じ**“決断なき、団結なき”土壇場でのだらしない集団**である。過去延長のこだわりと取り繕いで現実直視の方法と思想が無いからだ。発想大転換ができるか、否かに世界命運は懸かる。

[2] : 既存覇権路線の追求<最終ゲーム作戦=operation END game>.

(1)最終ゲーム作戦 :

米国支配層の隠れた思想一つがヘーゲル弁証法、正反合の、常時敵を設定し、戦を交え、**最終淘汰に勝つ**という**優生主義思想**。あえて危機を招来し、敵との戦いを形成するのである。冷戦時代は資本主義米国と共産主義ソ連二極対立時代があったが、ソ連アンドロポフとゴルバチョフはこの前述の歴史思想構造を了解し、共産ソ連を自主解散してしまった。是を知った極右ブッシュ親父は顔色を変えたと言う。敵ソ連の存在こそは米国民を扇動しての**軍産複合体肥大化原動力**だったからだ。クリントン軍縮で瀕死化した軍産複合体は、そこで急遽イスラム教徒を敵に設定する方法が模索された<ブッシュネオコンの9/11自作自演テロと中東侵略戦争開始>。他方 Rockefeller、ブッシュにしてもよって立つところがあの石油。欧州人は戦後世界的経済成長と付随する膨大な化石燃料消費に伴う**世界気候変動危機**に最初に気づいた(1973 ローマ報告、1988IPCC)。他方常時に長期将来覇権を展望する米(石油)資本もその可能性を暗黙に知る。だが石油大量消費無くては彼ら覇権地位がないのも明白。当初温暖化は**緩慢進行**すると楽観視されたので、気候変動に伴う生存環境悪化とそこでの民族淘汰を彼らは隠れて歓迎。その典型証拠は気候変動科学では**世界一級米が、炭素削減京都議定書(1997)への参加拒否で世界を敵に回した事だ。**常識ではまさかと思うだろうが、本サイトでは反復記述した如く、米支配層は実質的なガス室工場化大量殺戮をした人種淘汰主義のナチス末裔なのだ。筆者見込みで乗るにしても反るにしても気候変動問題こそは形を変えた人類存否を賭けた**第三次世界最終大戦(最後の審判)**になる。

(2)明白に大規模な被害が進行してるのに世界メディアは黙殺、彼ら地獄案内人！

<http://www.777true.net/Temperature2.pdf><[3] : 現実世界に起きてる破綻兆候現象>
南半球白人国オーストラリアの気候変動被災も顕著で、彼らは直に危機を直感してる。

<http://www.planetextinction.com/>

(3)赤信号直下を皆が平気で渡ってる<MMM 媒体の奇怪集団同調効果の世界超支配>。

主に英語圏サイトを見た限り、英国と米一部を除いて主要メディアは気候変動問題を触れたがらない。ソ連中国は殆どない<但し筆者見落とし可能性も>。日本のサイトは殆ど全滅に近い。全員が集団自殺進行を信じ、信じられないのだ。巨大な大蛇を前にすくんで身動き一つできないカエルさんの様だ。

(4)石油ずけ現状資本主義体制下の寄生者-雇用者は生活拘束で問題を口にできない。

2009/7イタリア・ラクイア G8(20)会合での科学者提言は**80%以上の炭素削減**を堂々声明、だが時期が手遅れの 2050 年(?)。そしてコペンハゲン COP15 は承知如く最大排出国である米中主導での実効的確約なしのご破算結果。世界指導者地位は現経済体制での消費継続基調路線にある、この自転車操業停止は即座破綻なのだ。代換案がないのだ。

(5)かくて operation END game は現状世界趨勢では目下大沈黙の中で進行中 !!!

過去 10 年メタン研究成果によれば、臨界点超越では緩慢進行でなく、急不可逆メタン融解の正帰還開始、超破滅的で人類生存可能性は薄い。彼らは誤算したのだ、だがブレーキが、

[3] : 全球ラマダン作戦<operation global RAMADAN>.

現状からの救済可能性について以下で概論する、筆者現状能力では荒い概論しかできない。以下は筆者個人の計算結果に由来する者で更なる第三者検証が必要である。

①炭素0放出 simulation 計算 :

(1)炭素0放出での全球温度 simulation 計算結果は30年後に**最大0.3度C**,以後温度低下に転じて現状温度復帰は開始後90年。0放出では**炭素自然吸収一途**を図るのだ。

<http://www.777true.net/Global-Temperature-FACT-7.ppt>

<http://www.777true.net/CATASTROPHE-CRITERION-BY-PFL-MODEL.pdf>

(2)**最大0.3度C**到達で破綻が一切無いのか? !!,

問題は北極圏メタン融解、極圏温度は1度前後になるだろう、是で臨界前ならOK.

メタン融解に関する温度余裕幅は1~2度程度といわれる。もう一つ可能性は

最大熱源太平洋海流の北極流入停止を図るベーリング海峡閉門設置工作(反動問題あり).

(3)再検証すべき要素は **GHG 濃度関数の放射強制力計算、海洋海底熱伝播時間、その他**。

この部分は科学者責任での最終真剣勝負になる。

(4)地球破滅に関する**預言者警告** :

従来科学では排除されてきた超常現象、(宗教)予言にはその論理物理学根拠がある。

筆者は地球気候科学に先立ち、彼ら予言警告から地球科学解析に従事し始めた。

<http://www.777true.net/Scientifical-Mechanism-of-Prophecy-by-Paranormalities.pdf>

②正しい科学予測は唯一 :

(1)世界哲学思想序論 : 共に生きるのか、相争うのか!!

話は二つに一つ、前提は共に生きるのか、相争うのかの決断選択が一番の基礎に始まる。

実質的にはメタン破滅での全人類死刑か、全人類懲役数十年かの選択決断である。

殆どS F的な話になってしまうが、核心は食糧生産供給と空中炭素削減への植林大作戦。

ひたすら全球市民が一丸となって生きるだけの生活を数十年かけてやる。筆者現状能力で

は荒い概論しかできないが、詳細はどうあれ一つの試論たたき台を提供。大前提は全球

市民が**共通革新認識**できさえすれば決して原理的に何ら不可能では無い事だ。

<http://www.777true.net/OPERATION-GLOBAL-RAMADAN.pdf>

(2)22年長期 IPCC (COP) 合意決断不可だった現実を考慮すると**別次元会議が必須**。

(a)純公理系(数理科学)に限る話だが現代科学最大金字塔は **Goedel 完全性定理**、その真意は唯一なる真理(前提からの論理演繹された結論)は証明可能である。是が超多体確率系だが、その基礎は**物理学-化学(生物学)**である**地球気候科学系**も広い意味で公理系。と成れば**正解は唯一**なのである(確率命題になるにしてもだ!!)。この認識が重大だ!!!

*商人曰く「この盾は如何なる矛にも破れない、この矛は如何なる盾も破る」、是を聞いた
通行人は問う。「その矛でその盾を突いたらどうなる?」。商人「.....」。

矛盾(contradiction)の論理本質の是以上の簡易表現はない。物質世界特徴は“破る、
破れない”の肯定否定命題同時成立は絶対不可能。過去でも未来でも実現する事は唯一。
“真理”とは物理的実現の事である。それが過去にしても未来にしても唯一である事。

Goedel 完全性定理は皆の認識論に必須、それは無矛盾体系科学真理の唯一性の真意。

しかも無矛盾という僅か一つだけの前提で原理上の演繹論での数学記述化がおきる。

*物理学は公理系になる、然るに化学(生物学)は物理学基礎だから公理系になる。

<http://www.777true.net/Goedel-Chaos.pdf>

IPCC 気候変動科学学習で最初にきずかされる事は将来予測に関する責任逃れの弁明が先立
ってる事だ。確かに地球気候模型での予測 simulation はまだ不完全要素があり、欠陥を抱
えてる(?)。だがそれでも筆者は①長期予測全球系 simulation は一意確定と見ている。長
期で全体系と言うと雑音乱雑要素が平均化で消滅して因果関係が顕著化するはずだから。

*だが流体特有の巨視的カオス、北極振動の様な短期マクロの揺らぎもあるのも事実。

と言うか科学者結論が唯一にならなければ、実効的な救済がない事を既に事実上証明した
のが IPCC(COP)の 22 年間事業でなかったのか!!。理由は科学的現実を無視した実質的な
現状覇権地位保全の政治決済である事をコペンハゲン COP15 で皆が目撃した事でないのか。

(b)政治経済からの科学者真偽判定への干渉を完全排除する別次元地球科学者世界会合。

今唯一救済可能性は政治経済外部干渉を完全排除した純科学判断だけである。そこでは
徹底した詰め科学議論をこなす事によって唯一の予測見解を全球市民に公開する。

だがこの科学者会合結論は既に提示されてた内容の確認作業になるだろう。要するに
全部がではないがその手の科学者は真相を既に承知してるという当然の話だ。

(c)米国と中国の決断が世界命運を決する。

上記では中国古典逸話の矛盾を紹介したが、他方非ユダヤ人だった論理学者 Goedel は
ナチス下欧州で身の危険を察して Einstein 等の計らいで米国亡命、矛盾の定義と Goedel
論理学は不可分なのだ。然るに上記指摘如く、コペンハゲン COP15 での米中は気候
科学事実を無視して、危険極まりない既成体制温存の道を選んでしまった。もう既に
救済の道への時間猶予はさほど無いはずである。その事と 80%以上削減の内容を過去に
オバマ大統領も口にしてている。かつて中国は日本人植林技術者を受け入れて大規模な
砂漠地帯の緑化実験にも成功している経験もある。中国の国家社会主義市場の国家指導
方法は今後更に形を変えての気候変動対応国家主導体制への変革可能性をもある。論理
学によれば事実否定での矛盾生成は上記商人の如く、確実に破滅を招来する。願わくば
世界最大炭素排出国でもある米中(彼らは同時に世界主導商売と金融大借款関係の密接
不可分の仲でもある)の彼らによって立つ科学真実を直視する事を懇願するのみだ。

③炭素0放出での全球生存生活 simulation :

<http://www.777true.net/OPERATION-GLOBAL-RAMADAN.pdf>

(1)衝撃大規模混乱からの秩序形成 :

現状最大の破滅を招来してる矛盾は科学事実よりも、政治経済現状保守が優先の逆さま、命よりも金の方に夢中になってると言う悲惨な世界現状である。もし正常ならば初めに各国全政府が純科学事を受け入れる姿勢から始まる。なぜならば拒絶は破滅を意味する。政治経済干渉絶縁の世界科学者会合が一つ世界気候予測と付随必要政策を公開する。2007/11/7, Valencia IPCC 声明を一步先読みすればでは現状趨勢だと不可逆急変動破滅は不可避との警告だから、別次元会合結論も同様路線に沿うだろう。となると純科学結論は早急な 80%以上削減政策と最新研究報告*によれば植林炭素吸収性が認識にある事実から世界規模植林政策が推奨される。この路線で削減策に伴う標準生活モデル<準戦時体制>も提示されるが、エネルギー事情は各国で大幅に異なる事だ。いずれにしても国連的指導部(GHQ)指令に各国は従う事になる。各国政府は結果を国民に通達、同時に行政も動くが認識にない国民から一時的な大混乱も避けがたい。だが是は戦時体制の施工なのだ。

(2)全球統制経済での生活資源配給生活、爆弾なき準戦時体制となる。エネルギー配分優先順位に従い、必要な事だけをやる。先進国人が従来贅沢を放棄できるかどうかの一つ、闇炭素エネ使用をきつく監視するために軍警察管理が避けがたい。当然、不要必要産業優先順位から経済の大統制も起こる。生活は軍票配給。

(3)日本の場合は戦後 1950 年代生活水準が一つの想定モデルではなかろうか。

(4)家庭生活での最大熱量消費は風呂、是は屋上配置太陽熱湯沸かし器で簡易解決可能。日中屋内照明も天窗の方法がある。ハイテク(太陽光発電, 風力等)の高額商品が商売がらみ(供給側経済)でよく取りざたされるが、所得減での省エネは太陽熱直利用。電気自動車は既に鉄道路面電車(トロリーバス)が解決してるでないか!!、新エネルギー等の初期生産自体にも膨大な化石燃料消費が伴うのである。

(5)80%以上削減事実を一度認めると、生きていく為にそれ相応の対策案を皆が必ず考える様になる!!、危機こそが好機を生む可能性が高い。

(6)この手の問題解析では統率者に、専門家にして一般総合家が必要な事である。

気候変動科学と経済政策を同時にこなせる人材(育成)である。

(7)年末の COP16 メキシコに向けて諸兄妹の発奮と真相追及を期待するばかりだ。